

# 令和3年度 第3回十和田市外部評価委員会(記録簿)

日 時:令和3年 11月2日(日)15:30~16:40

場 所:十和田市役所 本館4階 大会議室

出席者:十和田市外部評価委員会委員 13名

(高井委員長、升澤委員、平館委員、山端委員、櫻田委員、佐々木委員

大宮委員、木村委員、柴崎委員、原委員、館花委員、出川委員)

事務局:漆館企画財政部長、小川課長、前山係長、小林主事、馬場主事

1. 開会	
事務局	それでは、ただいまから、第3回十和田市外部評価委員会を開催いたします。
2. 委員長あいさつ	
事務局	はじめに、十和田市外部評価委員会 高井 委員長よりご挨拶をお願いいたします。
委員長	委員の皆様には、質問シート並びに事業評価シートをご提出いただきましてありがとうございました。 本日は、皆様から提出していただきました評価内容を最終確認していきたいと思っております。 委員の皆様から忌憚のないご意見をいただきながら進めて参りたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。  簡単ではございますが、会議開催にあたってのあいさつとさせていただきます。  それでは、事務局お願いいたします。
3. 案件 外部評価対象事業の最終評価	
事務局	ありがとうございます。 これからの議事の進行につきましては、高井委員長にお願いいたします。
委員長	それでは、次第に従いまして進行させていただきます。 本日の案件は、外部評価対象事業の最終評価です。 事務局から、本日の会議の進め方についてご説明をお願いいたします。

事務局	<p>それでは、本日の会議の進め方についてご説明いたします。</p> <p>本日は、事前に皆様に配布しております「事業評価集計表」をもとにし、事業ごとにご意見をいただきたいと思ひます。「事業評価集計表」は、委員の皆様事前にいただいた評価やご提言を事業ごとに集約したのものとなっております。</p> <p>はじめに事務局から、各事業の評価結果の概要をお伝えし、その後5分程度で意見交換をしていただきます。そのなかで、評価内容の変更の有無等をご確認いただき、必要に応じて文言の追加、削除をお願いいたします。最終的には委員会として、事業の方向性を一本化するのではなく、様々なご意見を記載する形での評価としたいと考えております。</p> <p>事務局からの説明は以上になります。</p>
委員長	<p>ただいまの事務局からの説明について、何かご質問はありますか。よろしければ早速、お手元にあります事業評価集計表の順に従ひまして、事業ごとに意見交換を行っていきたくと思ひます。</p> <p style="text-align: center;">全8事業について事務局から概要説明後、委員による意見交換</p>
<b>【①農業人材力強化への支援】農林畜産課 説明</b>	
委員長	<p>現在、米価も下落している状況ですけれども、委員の皆さんのところは売上などはいかがですか。</p>
委員	<p>米は 3,400 円下がっていて、春からの肥料代や農協からの請求書が来ており、各農家が大変な状況だと思ひます。農協からお金を無利子で借りることができるが、最終的には返すものだし、なるべくならば借金をしたくない。子供たちには借金で苦勞させたくないという悩みがあります。今後どうしていくかは私もわからないです。</p> <p>やはり、みんなその借金をどうするかということで苦悩しています。高齢化になっていて、これ以上農家を続けて良いのか、子供たちには別の仕事してもらおうかという声もある。この後継ぎ問題をどうしていくべきか、私自身も子供には別の仕事をさせています。</p> <p>私のところは稲刈りから精米まで、人を雇って行っている。この先、後継ぎもないので、終わろうかなと思ひてはいるが、70 歳手前なのでもう少し頑張ろうかなと思うところもある。難しくて答えが出せない。</p>
委員長	<p>こういった問題に何か国の支援などはあるものですか。</p>
担当課	<p>農家の高齢化という問題は市のみならず全国的に起こっており、国も対策を講じているところですが、歯止めがかかっていないという現状がございます。国はこれまで、いわゆる担い手となる農家に農地を集積して、作業の効率化を図ることで、なんとかしのいでいこうという方針を掲げておりました。</p> <p>しかし、最近大規模農家に集積という流れに変化しており、現在は中小農家にもスポットを当てなければならぬという流れにもなりつつありますので、国の補助事業等も大型農家を対象としていたものがもしかすると変わっ</p>

	<p>てくるかもしれません。</p> <p>実際、担い手の確保は難しい問題であると認識しております。</p>
委員長	<p>思い付きで申し訳ありませんが、例えば市内の田んぼや畑をマップ化し、所有者の年齢や状態を記録していくと、今後どの地区が弱いかなどが見えるのでは。ITを活用して自治体をもっとイニシアチブを取って、第三セクターが良いのかわかりませんが、若い人が入りやすい、大規模化なのか組織化なのかかわかりませんが、仕組みづくりが必要なのかなと思います。</p> <p>担当課には脱皮して、これまで出た意見などを取り入れた、事業展開をしていただくことを期待しております。</p>
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として、本事業の評価を終了。
【②中心市街地活性化】商工観光課 説明	
担当課	<p>簡単に補足説明させていただきたいと思います。事務局から説明のあったとおり、外部との連携が重要であるという意見を複数いただいております。その他にも様々な意見をいただいております。今後の事業においては、いただきました意見を参考として取組を進めていきたいと考えております。</p> <p>その中で、外部との連携という部分につきましては、第2回外部評価委員会においての説明でもお話をさせていただいたかと思いますが、中心市街地活性化は決して市だけでできるものではないということで、現場の商店街の皆さんを始め、事業者の方々とできるだけ連携をとり、ディスカッションやワークショップなどを通して、お話をする機会を多く設けながら、取組を進めていきたいと思っておりました。</p> <p>また、何点かアートとのコラボというものをご意見いただいております。こちらにつきましては、中心市街地活性化基本計画上の取組ではございませんが、現代美術館側の文化観光推進法に基づいた計画の中で、様々な取組を行うこととしております。</p> <p>例えば、まちなかアートイベントとして、今年コロナで開催はできませんでしたが、三本木小唄を活用したイベントの開催を計画したり、地域食材の活用ということで、地場産品を活用した新たなメニュー開発という取組を美術館の取組という位置づけの中で実施しております。</p> <p>また、地域交流センターを整備しております。こちらが完成した暁には現代美術館と連携したような、企画展も検討しているところですので、市にある資源を有効に活用した中で、それぞれ、中心市街地活性化だけ美術館だけということではなく、これらの資源を組み合わせる中で活性化を図っていくという風に考えているところでございます。以上です。</p>
委員	<p>私たちが若い時には、30番、今の十和田市中央ですが、非常に賑わっていたと思っています。なぜ今こうなっているのかをみんなで考えるべきだと思います。今アーケードも取っていますが、やはり殺風景に感じています。</p> <p>先ほどの話にもあった、交流センターを作るということで、期待しております。現在、現代美術館には多くのお客さんが来ています。それを上手く利用していくべきだと思います。裏を返せば、十和田市には全国的にも立派な官庁街通りがあり、桜もあり、十和田湖もありますが、これらを結び付けて、い</p>

	<p>わゆるお金が落ちるシステムというものが私には見えていません。十和田市に行ってみたいという人が全国にいないと、十和田市の人口が減少する中で、経済を回していくことが簡単ではないと思います。</p> <p>中央の商店街に目を向けていただくと、シャッターが下りており、空き店舗も多く、草も生えています。環境問題の観点から言っても良い状況とは言えません。十和田市に行ってみたいという環境づくりがまず大事だと思います。</p> <p>中心市街地の活性化はもちろん大切で、それができなければ人は集まらない。環境の良いところで生活したいというのはみんなが思うことです。しかしながら、例えばごみが落ちているともちろん嫌だなと思います。そういった一つ一つの課題を整理しながら、中心街を活性化してもらいたい。</p>
委員長	<p>あまり固有名詞を出してはいけないかもしれませんが、下田のイオンは土日になると多くのお客さんがいます。イオンなどは全国的なものですので、外からの人を呼ぶことにはなりません、観光施設でもあのような集客力を持って、外からの人を呼ぶようなものがあればなどは思います。</p>
委員	<p>その他提言に、商店街の次世代の方々にプロジェクトチームを編成してもらいたいと書かせていただきました。なぜかという、私に近い年齢の人ばかりが活性化したいと考えても意味がないと思っており、若い世代やまだ表に出ていない人に真剣に活性化を考えてもらいたいと思って提案させていただきました。</p> <p>担当課でそういった人の掘り起こしをしないと、みんな困ったというだけで、ではどうして行こうかという部分に入っていないかと思っていますが、いかがでしょうか。</p>
担当課	<p>ご意見ありがとうございます。中心市街地活性化を進めていくにあたり、当然市の取組、民間の取組などいろいろな取組が必要になっていくかと思っています。計画策定時もそうでしたが、市民の方も含めまして、ワークショップ等を開催いたしまして、色々なご意見をいただきながら、計画を作った経緯がございます。今後の計画を進めて行くうえでも、商店街の方からもそういった機会を設けたいというお話は受けているところではございますが、コロナという状況もあり、大きく人が集まってということが、昨年度はできなかったという部分はあるのですが、現在状況も改善されておりますので、そういった機会を多く設ける形で、使う方の意見も聞きながら、当事者である商店街の方々の思いも聞きながら、取組を進めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>商店街とはと考えると、誰かが儲けていないと、見本を見せないと真似しないんです。興味ある人が中々前に進まない。そこで、誰か中心となる人に支援などをしながら、見本を見せてもらい、それを真似していくというのが本来の商店街の形なのかなと思っています。</p> <p>ですので、そういった人の発掘をして欲しいなあと思っています。</p>
担当課	<p>色々なご意見を参考とさせていただきながら、様々な立場の方、商店街で商売をしたいという人もいらっしゃるでしょうし、代々続けてきてなんとか続けていきたいという方もいらっしゃるという中で、色々なご意見を聞きながら、微々たる進みではあるかもしれませんが、進んでまいりたいと考えております。</p>

	す。
委員長	良い見本になる人材も商店街にはいると思います。
委員	商店街の中に商店会というものもあります。そういった商店会の方々との連携というはあるのでしょうか。
担当課	<p>中心市街地活性化計画を策定するときには、計画の中にあります4商店会を中心に、ご意見を伺っています。連合会という組織もございますが、そちらの会合の方に私たちも参加させていただき、意見交換をしながら策定していったという経緯はございます。</p> <p>決して他の商店会の意見を聞かないというわけではなく、幅広く意見をいただきながら計画を進めてまいりたいと考えております。</p>
委員	私自身も商店会に所属しておりますが、連帯感がない計画に感じていますので、市役所でそういった部分を連携した計画としていただければと思います。
委員	連帯感がないと感じる要因として、中心市街地という言葉に対するイメージが皆さんがイメージする姿と市がイメージする姿がマッチしていない部分があるのかなと思っております。資料を見ると、コンパクトで持続可能なまちづくりという漠然としているなと思うところがあります。多くの方は、昔のように買い物客であふれている姿を想像していると思いますが、今後の都市の在り方というものは、価値観も多様化しています。買う・食べる以外以外の価値を求めて、人が集まるということもあるかと思えます。今は、ある計画の進捗を報告していますが、もう一度構想というものを大きく描いて良いんじゃないかなと思います。中々昔のようにはならないと思えますし、どういうまちになればみんなが幸せになるのかという部分を今一度議論しても良いのではないかなと思います。
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として、本事業の評価を終了。
<b>【③特定不妊治療支援】こども支援課 説明</b>	
委員長	雑談ですが、今日、新聞で子宮の移植という記事を見ました。費用が2,000万ほどかかるそうです。亡くなってしまった方の子宮をいただいて、移植し、出産し、出産後には取り除くというような方法のようでした。まだ、正確ではありませんが世界ではすでに60例ほどあって、出産までいったのが20例ほどあるようでした。すごい時代が来たなと感じております。ただ、手術には8時間ほどかかるということでした。
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として、本事業の評価を終了。
<b>【④健康診査の推進】健康増進課 説明</b>	
委員長	確認になりますが、こちらの事業は受診率が良くなかったという状況という認識で良かったでしょうか。
担当課	国の基準には及んでいませんが、大腸がん検診については対策をとっているため、徐々に上昇している状況です。
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として、本事業の評価を終了。

【⑤空き家等対策】都市整備建築課 説明	
委員長	この空き家が固定資産税を払っている、払っていないというのは色分けできるものなのでしょうか。
担当課	空き家対策の担当課としてはそういった情報を収集することができないため、できません。
委員長	放置された空き家で危険な状態のものについては自治体が強制執行などができるとい法律はもう制定されていますか。
担当課	制定されています。
委員長	その法律に基づいて執行した場合、費用は自治体負担ですか。それとも所有者に最終的に負担させるものですか。
担当課	最終的には所有者が負担することとなります。
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として、本事業の評価を終了。
【⑥公園施設の整備】都市整備建築課 説明	
★最終評価	「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として、本事業の評価を終了。
【⑦公共交通の維持・確保】政策財政課 説明	
委員	<p>公共交通は市民の足だと思っております。現在市では、循環バスと西地区シャトルバスが運行しています。私も同じ会の人と一緒に乗ってみましたが、買い物に行く人などが乗っていて、100円で行けるというのは便利です。西地区も、旧十和田湖町の方に運行していて、それも便利だと思います。しかし、それらが走っていない地区はどうなっているかという、80歳くらいまでは運転する人が多いというデータもあります。それ以上になると、家族に説得され返納する方もいらっしゃると思いますが、市の返納支援でも多くの人は商品券を選択しています。しかし、実際には返納後も病院にも買い物にも行かなければならない。</p> <p>そこで、市の財政も考えなければならないですが、路線バスが通らないところで100円バスも行っていないところをどうするのか、5年間どうする、10年間どうするというのを聞いたことがないように思います。</p> <p>住んでいる人の中には、バスが通らないと遅れた地域だと思われるので、1日1回でもバスが通るなど、市民の足を支えていく方向性を示していただければ免許返納なども進むと思います。</p>
担当課	<p>路線バスは事業者が行うものですので、どうしても乗車密度が低いと廃止という話が事業者から出てきます。廃止しているところには予約制乗合タクシーを市で運行しているところもあります。</p> <p>バスが走っても平均的に1人しか乗らないのであれば、予約制乗合タクシーの方が効率が良いということになりますので、そちらをご利用いただいております。</p> <p>また、人口減少が進んでいく中で、今後の市民の足をどうやって守っていくかについては、適材適所の方法を考えていかなければならないと考えております。</p>
委員長	車を維持するためにかかる費用を考えていたのですが、一年間に約20

	<p>万くらいになるのかなあと思ったのですが、それをすべてタクシー代にしたとして、カバーできるのかなあと思っていました。</p> <p>だからといって、バスという手段は効率的ではないでしょうから、やはりデマンドタクシーや福祉タクシーなどを上手く活用するしかないのかなと思います。また、それらを簡単に利用できるようなシステムを作っていくことなのかなと思っています。</p> <p>都会であれば、携帯ですぐ予約できるシステムがあるようですので、そういったシステムのようなものを構築していく必要があるのかなと思います。</p>
委員	<p>先ほどの説明だと、今後どうなるのかなというのが見えていなくて、5年後にどうする予定ということをも市民に知らせていくべきな気がします。</p> <p>できないこともあると思います。乗らないところにバスを走らせるわけにはいかない。毎年時代は変わっている中で、それに即応した計画を何かの形で知らせられれば良いのかなと思います。</p>
担当課	<p>市では公共交通網計画というものを策定しておりまして、来年度計画が終了となることから、新しい計画の策定を予定しております。その中で、皆さまのご意見を聞きながら、人口減少等の時代の変化を加味しながら作成していくことができると考えております。</p>
★最終評価	<p>「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として、本事業の評価を終了</p>
<p><b>【⑧市民交流プラザの利活用の促進】まちづくり支援課 説明</b></p>	
担当課	<p>質問にございました、駐車料金を徴収している市の施設は他にあるかという質問につきましては、文化センターが徴収しております。</p>
委員	<p>使っている方々から、利便性の関係で、音響が良くないとか部屋の導線がとかということが聞かれます。そこで、利用率を上げるために、利用した方からアンケートをとり、その声に応えられる限り応えていくということが必要だと思います。</p> <p>昔は中央公民館があったが、その代わりだと私は思っています。そうであれば、市民の人が集いやすい環境にする必要があると思います。</p> <p>ただ、隈研吾の設計ですので、簡単に建物を変えるということは難しいとは思いますが、できる限り対応してもらいたいです。</p>
担当課	<p>皆さまのご意見を聞きながら、改善を図れる部分は改善を図っていきたいと思います。</p>
委員長	<p>こちらは建てる時に市民の声を聞いて建てたんですね？</p>
担当課	<p>建てる時には、検討委員会などを作って、市民の方からも意見をいただきながら建てております。</p>
委員	<p>設計のコンセプトは道と広場を融合させた賑わいの広場となっていますが、現状は分断されているように感じてしまいます。当初はもっと開放的で、自由に使えることを想定していたと思いますが、目的がないとそこに入れないうように感じてしまうと思います。</p> <p>もう少し、目的はなくても入って良いというような雰囲気づくりが大切だと感じています。私自身、昼にミニストップをよく利用しますが、ミニストップには飲食スペースが設けられていて、そこには飲み物を買って話をしている人</p>

	<p>がいるという状況を公共を提供できれば良いのかなと思っています。</p>
委員	<p>私自身はまだ2回しかタワーレに入ったことがありませんが、以前の資料に使用料収入がある部分があります、せっかく建てた建物ですので、もう少し使用料収入が得られて、集客が得られるイベントなどをコロナが落ち着いたらやっていただきたいなあと思います。</p> <p>そうすることで、こういった建物があるんだよということを知らせることや、入りやすい雰囲気づくりができるのではないかと思います。</p>
担当課	<p>交流プラザについては原則無料としております。一部利用料をいただいております、企業とかは有料となります。いつでも開いておりますので、イベントとかにも民間の皆様にご利用いただければと思います。</p>
★最終評価	<p>「事業評価集計表」の内容を委員会の評価結果として、本事業の評価を終了</p>
4. 閉会	
委員長	<p>それではこれで、皆さんの意見をうかがえたということで、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>本日の意見交換を踏まえて最終的な「事業評価集計表」を事務局で作成いたします。</p> <p>後日、委員の皆様へ送付いたしますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>最終的な「事業評価集計表」は、市 HP で公表いたします。</p> <p>なお、今回をもちまして今年度の十和田市外部評価委員会は終了となります。お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございました。</p> <p>これまでの評価作業を振り返って、お気づきの点がございましたら次年度以降の参考としたいと考えておりますので、事務局までご意見をいただきますようお願いいたします。</p> <p>最後に、政策財政課長から御礼を申し上げます。</p>
政策財政課長	<p>政策財政課長の小川でございます。高井委員長をはじめ、委員の皆様にはお忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。</p> <p>外部評価委員会でいただいた各事業の評価につきましては、今後の事業の参考として活かして参りたいと考えております。</p> <p>皆様には、市政の運営等につきまして、今後も様々な形でご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>三回に渡りました外部評価委員会へのご出席、誠にありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、委員の皆様からはなにかございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">特になし</p> <p>以上で、今年度の外部評価は終了となります。</p> <p>最後になりますが、この度、委員長を仰せつかりましたが、委員の皆様にご協力いただき、全日程を終えることができました。</p>

あらためて、委員の皆様にご挨拶申し上げます。

本当にありがとうございました。

本日の十和田市外部評価委員会はこれをもって閉会いたします。

**11:00 閉会**

